

へび座新星 (Nova Ser 1970) のスペクトル

Nova (I)

①

②

③

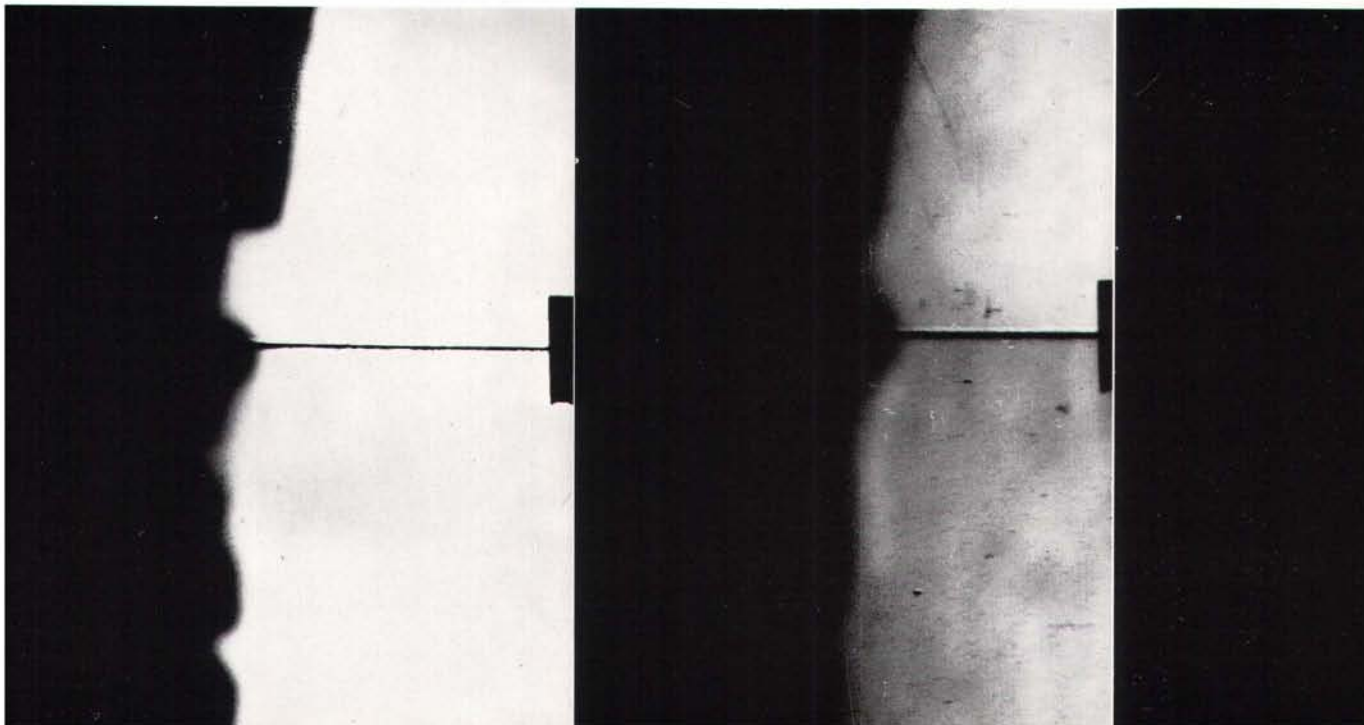
④

⑤

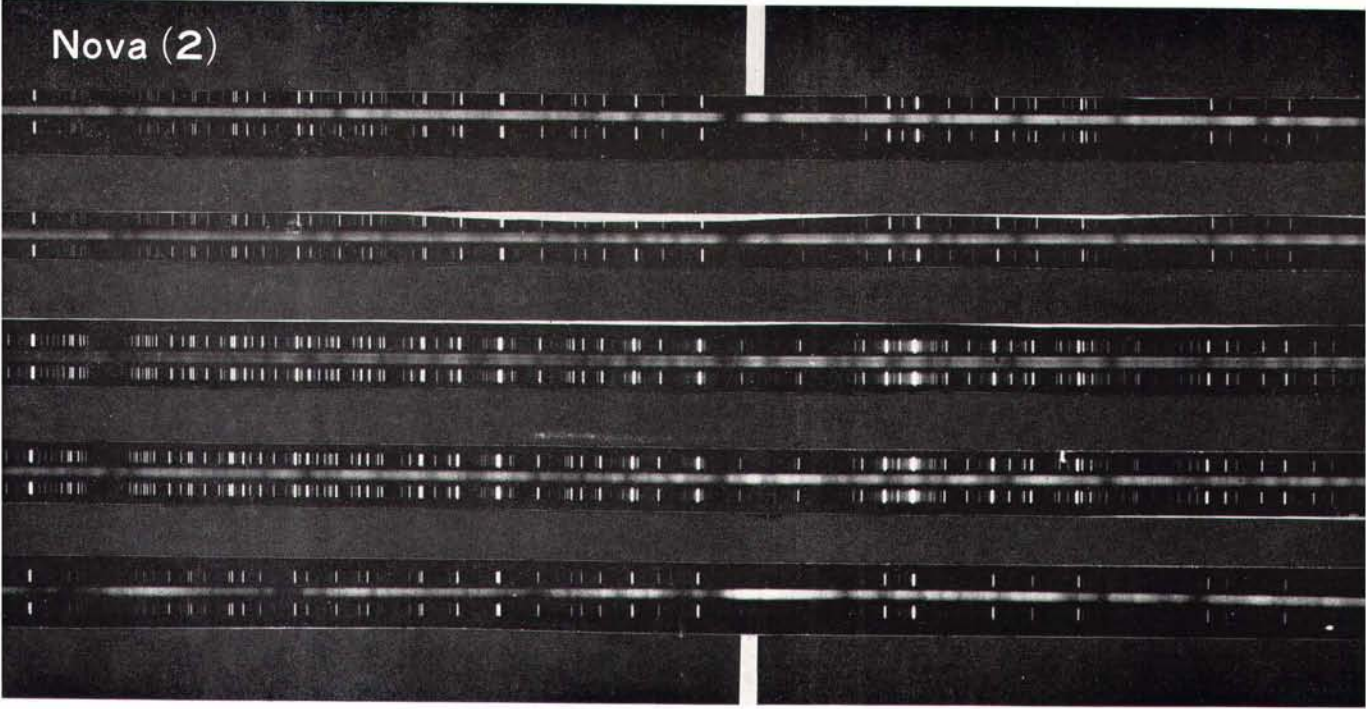
①	1970. 2. 16. (UT)	撮影	45分露出	Ca II	Ca II	H δ
②	1970. 2. 17. (UT)	"	50分 "	K線	H線	
③	1970. 2. 18. (UT)	"	90分 "			
④	1970. 2. 19. (UT)	"	80分 "			
⑤	1970. 2. 28. (UT)	"	60分 "			

水星の日面経過 (H α 単光写真)

岡山天体物理観測所 65センチ太陽クーデの分光器スリット反射面上で撮影した、H α 像のために彩層の様相がうつっている。左から時刻の経過とともにならべられていることは、黒くうつっている水星の動きからもわかる。左端はプロミネンスをよく撮るために露出を長くした(2秒)。他の4つは0.5秒露出、プロミネンスやブラージュがうつっている。中央の黒線はスリット。



Nova (2)

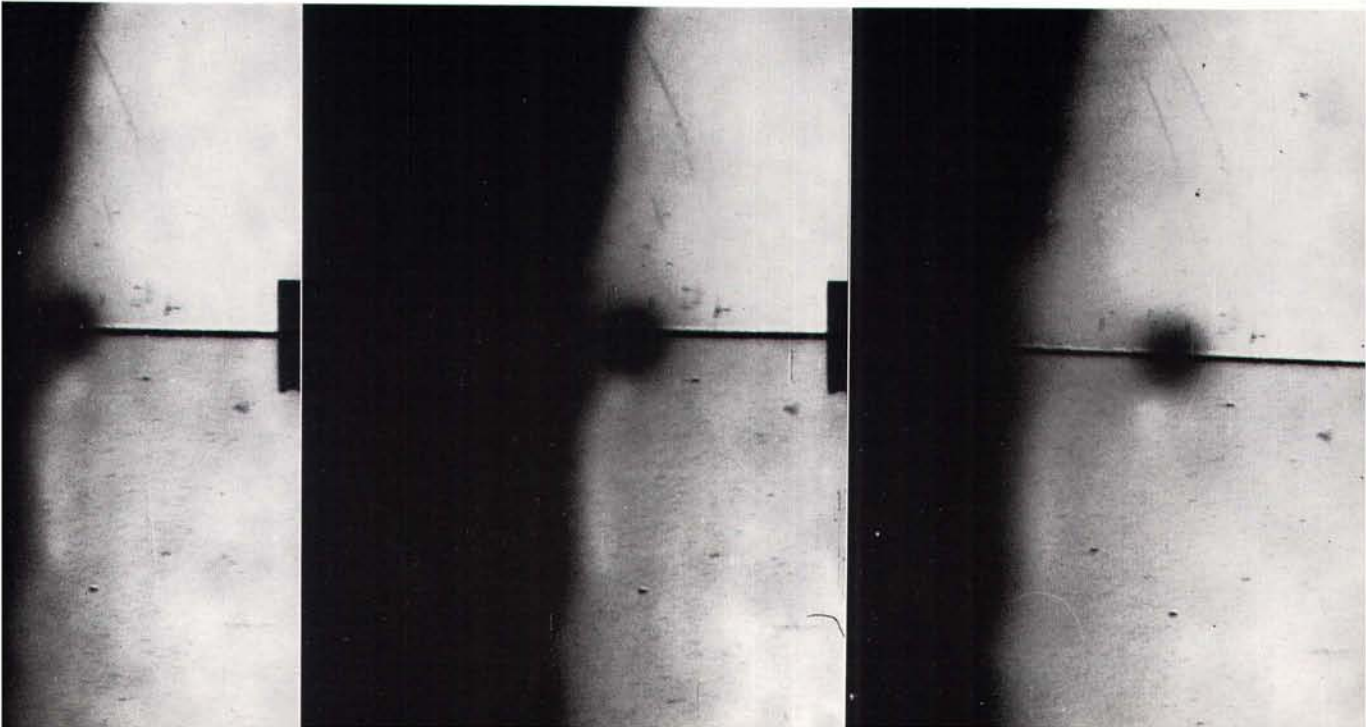


H γ

時間経過によってスペクトルにあらわれた特徴

- i) 連続スペクトルに対する輝線の割合が強くなった
- ii) Ca II H, K 線や H δ の左側にある shell による吸収線が青い方へずれている.

(本文記事 成相氏および小平氏参照)



天文学会春季年会



▲ 天体発見賞および功労賞を受けた方々
左から 多胡昭彦氏、藤川繁久氏、佐藤安男氏、
大道 卓氏、小坂浩三氏、金井清高氏

◀ 総会の議長をつとめる宮本正太郎理事長

▼ 学会の会場での記念撮影

